

提 案 ③ 会を設置する時は、広く情報提供しよう！

◆調査結果◆

市民向けアンケートでは、4割の市民が委員会・審議会に「参加したい」と回答しましたが、一方で、6割の市民が設置の事実を「知らない」と回答しています。



情報公開が市民参加のまちづくりを実現する上での基本です。今、進めようとしていること、進めていることについて、どれだけ情報を提供しているかが問われます。情報がなければ、市民は行動できません。情報が市民に行き渡り、行政と市民が対等な立場に立つことが市民参加のスタートです。

◆◇◆行政に求められること◆◇◆

会の設置の情報を事前に市民に提供していない審議会・委員会が見られます（行政向けアンケート問14（1））。公募委員の枠を設けることとも関連しますが、会の種類によっては市民の参加を受け入れる環境整備が万全とは言えません。市民に分かりやすい言葉で会の目的や概要を発信することを始める必要があります。活用する媒体となる広報やホームページの見やすさや面白さを高めることも求められます。活字の情報だけではなく、ビジュアルを活用するなど工夫が必要です。CATVやコミュニティ放送など地元のメディアを活用することも一つの手段です。どうしたら市民に響く情報発信ができるかを検討する審議会・委員会を設置することを提案します。

◆◇◆市民に求められること◆◇◆

今治市は月に2回、広報誌 VOICE を発行しています。発行頻度が充実しており、使いやすいサービスです。その中には、市民参加を求める情報がたくさん掲載されています。ただ、少し意識しないと、その情報は見落としてしまいます。私たち市民がどれだけアンテナをはっているかによって、市民参加の進み具合は左右されるのです。関心のある情報があれば、担当課に問合せをしてみましょう。何のために参加を求めているのか、到達目標は何なのか、聞いてみましょう。

Check

アクセスしやすいホームページ（愛媛県新居浜市）



多くの自治体では、審議会・委員会の設置の情報や委員募集などは各課のページにアップしています。新居浜市はホームページの玄関であるトップページに「市民参加と情報公開」というアイコンがあり、審議会・委員会の情報にすぐ行き着くことができます。各課で設置している審議会・委員会の概要が分かる一覧表も公開しています。

デザインの見やすさ、文字の大きさ、視覚障がいのある方へのアクセスへの支援なども勘案し、目的の情報に行き着きやすい工夫が求められます。